

せいしんかびょういん ちょうきにゆういん ねんいじょう かた かんするちょうさ
精神科病院に長期入院（1年以上）している方に関する調査
しない せいしんかびょういん そうふ
（市内の精神科病院に送付）

さっぽろし
札幌市

ほけんふくし かん せいしんかびょういんにゆういんかんじゃ あんけー とちょうさ
保健福祉に関する精神科病院入院患者アンケート調査（案）

ひ ごろから、さっぽろし しょう がいふくしぎょうせい すいしん りかい きょうりよく あつ
 日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚く
 お礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい
 福祉施策の推進のための参考資料とするため、精神科病院入院患者の状況などを
 お聞きする調査を行うことといたしました。

とつぜん ねが きょうしゆく しゅし りかい かいとう ねが
 突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い
 いたします。

なお、今回の調査は、札幌市で指定を受けている全ての精神科病院に、送信させて
 いただいたものです。

かいとう ないようとう じょうき もくてきがい しょう
 回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- 1 回答は別添の「回答票（エクセルファイル）」に入力願います。
- 2 患者ごと連番号を付してください（氏名の記入は必要ありません。）。
- 3 <直接入力>項目は、該当項目に直接回答を入力してください。
- 4 <コード入力>項目は、該当項目の「コード」欄にコード表「区分」コードを
 入力すると、それぞれの区分が自動入力されます。※書式及び数式等は変更し
 ないでください。

ご不明な点やお問い合わせは

かぶしがいいしや ほっかいどうにじゅういちせいきそうごうけんきゅうじょ
 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
 TEL011-231-3053/Fax011-231-3143

さっぽろし いたくぎょうむ
（札幌市委託業務）

A 年齢区分<直接入力>

令和元年9月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分<コード入力>

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	その他

C 精神障害者保健福祉手帳等区分<コード入力>

あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。次の区分により記入してください。(複数回答可)

区分	等級
1	精神障害者保健福祉手帳 1 級
2	精神障害者保健福祉手帳 2 級
3	精神障害者保健福祉手帳 3 級
4	療育手帳 A
5	療育手帳 B
6	療育手帳 B ー
7	手帳等なし

D 入院形態区分<コード入力>

入院形態を次の区分より記入してください。

区分	入院形態
1	措置入院
2	医療保護入院
3	任意入院

E 疾患名区分<コード入力>

疾患名を次の区分により記入してください（厚生労働省調査と同じ区分です）。

区分	疾患名（表示）	疾患名
1	F 0 0	アルツハイマー病型の認知症
2	F 0 1	血管性認知症
3	F 0 2～0 9	アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を含む器質性精神障害
4	F 1 0	アルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害
5	覚せい剤	覚醒剤による精神及び行動の障害
6	その他精神・行動障害	アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害
7	F 2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害
8	F 3	気分（感情）障害
9	F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
10	F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
11	F 6	成人の人格及び行動の障害
12	F 7	知的障害（精神遅滞）
13	F 8	心理的発達の障害
14	F 9	小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害
15	詳細不明の精神障害	詳細不明の精神障害
16	てんかん	てんかん（F 0 に属さないもの）
17	その他	その他

F 在院期間区分<コード入力>

在院期間を次の区分により記入してください。

区分	在院期間
1	1年～1年6か月未満
2	1年6か月～2年未満
3	2年～3年未満
4	3年～5年未満
5	5年～10年未満
6	10年～20年未満
7	20年以上

G 症状区分<コード入力>

症状を次の区分で記入してください。

区分	症状
1	調査日には退院日が確定している
2	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院が可能である
3	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの要因により、入院を継続する
4	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する
5	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する

<<Gの回答が1～3の方について記入してください。>>

H 退院ができない要因<コード入力>

退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください（単数回答）。

区分	要因
1	病状が不安定
2	病識がなく通院服薬の中断が予想される
3	退院意欲が乏しい
4	現実認識が乏しい
5	退院による環境変化への不安が強い
6	援助者との対人関係が持てない
7	家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない
8	家族がいない、本人をサポートする家族の機能が実質ない
9	家族から退院に反対がある
10	住まいの確保ができない
11	生活費の確保ができない
12	日常生活を支える制度が少ない
13	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい
14	その他

<<全ての患者について記入してください。>>

I 退院に向けての支援プログラム<コード入力>

病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください (複数回答可)。

区分	支援プログラム
1	服薬の必要性を促す
2	社会生活技術の取得を促す
3	地域の社会資源情報を伝える
4	地域援助事業者等の紹介
5	ピアサポーターの活用
6	地域の通所施設への体験通所
7	外泊訓練
8	個別退院支援計画の作成
9	地域移行支援の活用
10	その他
11	特になし

[退院に向けての必要資源]

退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください (複数回答可)。

J 住まいの確保区分<コード入力>

区分	住まい
1	一般住宅 (家族との同居を含む)
2	グループホーム
3	宿泊型自立訓練
4	特別養護老人ホーム
5	養護老人ホーム
6	老人保健施設
7	障害者支援施設
8	その他
9	特になし

K 生活訓練区分<コード入力>

区分	生活訓練等
1	自立訓練 (生活訓練)
2	グループホームへの体験入所
3	その他
4	特になし

L 生活支援区分<コード入力>

区分	生活支援等
1	ホームヘルプサービス
2	訪問看護サービス
3	自立生活援助
4	給食サービス
5	相談支援事業所による支援
6	ショートステイ
7	金銭管理サービス
8	その他
9	特になし

M 活動の場区分<コード入力>

区分	活動の場
1	就労できる場（就労支援サービス含む）
2	地域活動支援センター／地域共同作業所
3	生活介護
4	デイケア
5	自助グループ
6	その他
7	特になし

<<J～Mで「その他」を選択した場合、記入してください。>>

N 退院に向けての必要資源<直接入力>

設問L～Nで、「その他」を選択した場合、具体的にどのような資源が必要だと思いか、記入してください。

--